

第1回地域・スポーツ振興賞受賞作品概要		
最優秀賞	タイトル 応募者・事業主体 (所在地)	BCリーグによる MIKITO AED PROJECT (株) ジャパン・ベースボール・マーケティング (新潟市)
	作品の概要 北陸及び上信越6県を基盤とする「BCリーグ」は、野球による地域貢献を最大の目標として2007年4月に開幕した日本第二のプロ野球独立リーグ。冬が長く雨が多くて人口が少ない地域にプロ野球リーグは夢物語に近い。(株) ジャパン・ベースボール・マーケティングが加盟する球団を統括し、BCリーグを運営する組織母体として活動。突然死した野球少年の野球への夢をプロ野球独立リーグとして実現しつつある。二度とこのような事故が起きないようにAEDの普及活動に力を入れている。初年度は新潟・長野・富山・石川の4県でスタート、2年目に群馬と福井が加盟。2009年1月現在、加盟球団は6チーム。特定の大企業に頼らずに地域から出資を受け、多くの株主とスポンサーに支えられている。	
優秀賞	タイトル 応募者・事業主体 (所在地)	十日町新雪マラソン大会 新雪マラソン大会実行委員会 (新潟県十日町市)
	作品の概要 昭和55年～平成21年で30回実施。毎年1月2日実施。降雪季のマラソン大会は全国でも本大会くらいの特色あるもの。全国のマラソンランナーの注目を集め、大会出場者数10,000人を超える充実した大会に成長。マラソン大会の成果は中、高校生ランナーの全国レベル選手の多数輩出をはじめ新潟県縦断駅伝優勝や上位入賞。「生涯スポーツ」振興をかかげ、エリート競技だけでなく、年齢に応じたスポーツの奨励も呼びかけている。全国からのリピーターランナーも多く、レースだけでなく雪国の人間性に触れることも遠来者の喜び。	
優秀賞	タイトル 応募者・事業主体 (所在地)	サッカーを通じた出会いの場を 千葉県知的障害者サッカー連盟 (千葉県袖ヶ浦市)
	作品の概要 千葉県知的障害者サッカー連盟の「知的障害児・者サッカー教室」は、サッカーコート1面を貸し切り50人～100人の知的障害のある参加者と指導者・ユースリーダー(県内の中高校生)20～40人が一同に集まり、鬼ごっこやボール遊び等のゲーム、ミニゲーム大会等で楽しくサッカーに親しむことができるように配慮されたイベント。指導するのは本連盟のスタッフ、JEFユナイテッド市原・千葉や柏レイソルのJリーグチームのプロコーチが担当することも。一番の魅力はユースリーダーの豊富さ。教室は年10回程度開催。	
佳作	タイトル 応募者・事業主体 (所在地)	東深沢スポーツ・文化クラブ(HFSCC)における地域活性化 東深沢スポーツ・文化クラブ(東京都世田谷区)
	作品の概要 東深沢スポーツ・文化クラブは、平成14年4月に発足。世田谷区で初のモデル活動。活動を通じて地域「児童、生徒の健全育成」と「豊かな地域社会づくり」を目指す。約7年経過し、23の自主クラブが存在し、会員数は813名。活動の内容は、自主クラブによる定期活動、自主クラブ企画のイベント、東深沢スポーツ・文化フェスティバル等の参加者は約2,000名。全国から視察団体・大学生を12回受け入れ、行政の研修会等での10数回の事例発表等。世田谷区での新クラブ誕生、都内・全国へのクラブ設立や地域活性化に大きな貢献。	

佳作	タイトル	プロスポーツクラブと大学の共同事業～スポーツ観戦者サービス～
	応募者・事業主体 (所在地)	日本文理大学経営経済学部スポーツビジネス研究室 (大分市)
作品の概要 この活動は、地元のプロスポーツクラブが抱える問題の一部を地元の大学が担うもの。大分トリニータは親会社を持たないクラブ。観戦者は30代、40代の家族が多い。試合開始前から多くの観戦者が並ぶ。開門から試合開始の間(2時間30分)に時間を持て余している幼稚園児、小学校低学年を対象としたスポーツコーナーの運営を大学生が講義の一環として行うもの。レクリエーション・スポーツを子供達に指導、あるいは一緒に遊ぶというもので、費用をかけずにお互いにメリットがある。他県のクラブと地元大学でも十分実施が可能。		
佳作	タイトル	隠岐の島ウルトラマラソン大会の実現から発展へ
	応募者・事業主体 (所在地)	(株) JTB 西日本スポーツデスク (兵庫県神戸市中央区) 隠岐の島ウルトラマラソン実行委員会
作品の概要 2004年10月島根県「隠岐の島町」が1町3村の合併のもとに新たに誕生。課題解消の一助として「隠岐の島100kmウルトラマラソン大会」が2005年10月に開催実現。本大会は全国数ある中でも最も過酷と言われる程、難度の高いコース(島1周100km)であるがレースの完走率は高い。特徴は、町ぐるみの暖かいもてなしの心が生む「動く給水所(スタッフが両手に水を抱えてランナーに駆け出していく光景)」と「応援メッセージ(大会前に地元小学生が各ランナーの自宅宛に送る手紙)」。大会後も「文通」が続くこともあると聞く。		
佳作	タイトル	新生プロバスケットボールチーム・リンク栃木ブレックスの2年間の取り組み
	応募者・事業主体 (所在地)	(株) ドリームチームエンターテインメント栃木 (栃木県宇都宮市)
作品の概要 2007年に「地域密着」を運営理念としてチームを設立。栃木県はプロスポーツ不毛の地と言われた。選手も資金もない中で地域密着の「行動」を愚直に継続。チーム設立初年度はJBL2(2部リーグ)にて優勝、今シーズン(2008-9)から日本のトップリーグ(JBL)に昇格し、田臥勇太選手をはじめ数名の有名選手が入団するまでに至った。その背景には、チームを支える地域の企業やファンの存在がある。プロスポーツクラブが成し遂げるべく本当の成果は、「強く愛されるチーム」をつくること。観客動員：2シーズン累計で53,479人。		
佳作	タイトル	はつかいち縦断みやじま国際パワートライアイスロン大会
	応募者・事業主体 (所在地)	はつかいち縦断みやじま国際パワートライアイスロン大会実行委員会 (広島県廿日市市)
作品の概要 広島県西部に位置する廿日市市は、平成の大合併で世界遺産の厳島神社を含む瀬戸内海の宮島から西中国山地の豊かな自然まで、新しい顔を持つ市。連携・交流・融合を合併の基本テーマとして、廿日市市を縦断する『トライアイスロン大会』を開催。第2回大会実績：参加選手372名、ボランティア2,000人以上参加(中高生、スポーツ協会、町内会など各地域から)、観客動員約60,000人。特徴は、①世界遺産(厳島神社)をコースに取り込み全国に発信、②全市を横断するコースで、全市民が一体、③地元への誇りとスポーツ精神育成。		

佳作	タイトル	Kiss ポートボウリング事業
	応募者・事業主体	港区ボウリング連盟
<p>作品の概要</p> <p>Kiss ポートボウリング事業は、港区の「スポーツふれあい文化健康財団」、「教育委員会」、「ボウリング連盟」がスクラムを組んで、地域振興、社会貢献を図るもの。3つのボウリング場が、不登校や引きこもりの小中学校の児童生徒のために、施設の一部を開放し、心を閉ざし、外出を嫌がる子供達にボウリングというスポーツに参加させることで、“外の空気”に触れさせ、これをきっかけに再び、社会性を取り戻させるということを目的にした活動である。現在、港区内の19の小学校から413人、10の中学校から12人の登録がある。この事業は5年目を迎えた。</p>		